１２月３日　　**テーマ：「神の愛から引き離すものはない」**

聖書個所：ローマ人への手紙８章３７節～３９節

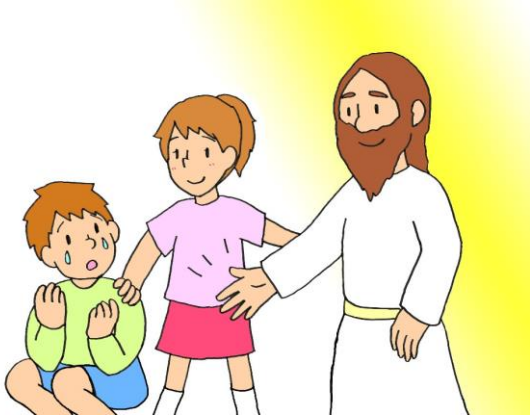
◆今日のみことば

私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。
ローマ人への手紙８章３９節

◆メッセージ

人からいやなことを言われたことがありますか。そんなとき、悲しくなってしまいますよね。パウロさんはイエスさまのことを多くの人に伝える働きをしていました。そして、ときどき、「イエスさまのことを人に伝えてはいけません。」と反対されることがありました。パウロさんは悲しくなって、イエスさまのことを伝えるのをやめたでしょうか。そうではありません。どんなに悲しいことやつらいことがあっても、イエスさまのことを伝える力はなくなりませんでした。神さまの愛がパウロさんのこころをいつも元気にしてくれていたからです。

私の友だちは、小学生のころみんなからいじめを受けていました。悲しくなって元気をなくしてしまいそうになりました。けれどもすぐに元気になりました。お母さんの愛をいつもこころの中に感じていたからだと私に教えてくれました。愛されていることがわかるとき、私たちは悲しいことや苦しいことを乗りこえる力が与えられるんですね。イエスさまを信じている人のこころの中には、いつもイエスさまの愛が入っています。どんなに苦しいことや悲しいことがあっても、あなたのこころから神さまの愛がはなれてしまうことはありません。



イエスさまは私たちの罪をゆるすために、十字架にかかって命を捨ててくださいました。命を捨てて愛してくださっています。この愛は、尽きることがありません。この愛は、奪われることがありません。どんな中になっても、離れることはありません。

こころが元気をなくしてしまいそうななるときにこそ、神さまのこの約束のことばを忘れないようにしましょう。

◆お祈り

「悲しいことや、つらいことがあっても、神さまの愛が私のこころを元気にしてくれることを感謝します。」

（長良キリスト教会牧師　増田由夫）